

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【公表番号】特表2010-521877(P2010-521877A)

【公表日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-025

【出願番号】特願2009-553632(P2009-553632)

【国際特許分類】

H 04 W 28/06 (2009.01)

H 04 W 24/10 (2009.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 2 6 4

H 04 Q 7/00 2 4 5

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレス送受信ユニット(WTRU)であって、

周波数リソースブロックのNグループのそれぞれについてのチャネル品質の指標(CQI)を決定するように構成されたプロセッサを備え、

前記周波数リソースブロックのNグループは、ダウンリンク帯域幅を分割し、

前記プロセッサは、Nのチャネル品質インジケータのそれぞれを異なる報告送信時間間隔(TTI)の中で送信するように構成される、ことを特徴とするワイヤレス送受信ユニット(WTRU)。

【請求項2】

前記報告送信時間間隔およびその報告送信時間間隔の中で報告される前記周波数リソースブロックのグループは、前記WTRUおよびワイヤレスネットワークによって送信より前に知られていることを特徴とする請求項1に記載のWTRU。

【請求項3】

前記プロセッサは、対応する周波数リソースブロックについての少なくとも他のレイヤーに対応するチャネル品質インジケータを示す前記Nのチャネル品質インジケータの情報のそれぞれと一緒に送信するようにさらに構成されることを特徴とする請求項1に記載のWTRU。

【請求項4】

前記報告送信時間間隔のそれぞれの送信は、前記ダウンリンク帯域幅内の前記グループの位置の指標を含まないことを特徴とする請求項1に記載のWTRU。

【請求項5】

ワイヤレス送受信ユニット(WTRU)によって、周波数リソースブロックのNグループのそれぞれについてのチャネル品質の指標(CQI)を決定するステップであって、前記周波数リソースブロックのNグループはダウンリンク帯域幅を分割する、ステップと、

前記WTRUによって、Nのチャネル品質インジケータのそれぞれを異なる報告送信時間間隔の中で送信するステップと

を備えることを特徴とする方法。

**【請求項 6】**

前記報告送信時間間隔およびその報告送信時間間隔の中で報告される前記周波数リソースブロックのグループは、前記WTRUおよびワイヤレスネットワークによって送信より前に知られていることを特徴とする請求項5に記載の方法。

**【請求項 7】**

対応する周波数リソースブロックについての少なくとも他のレイヤーに対応するチャネル品質インジケータを示す前記Nのチャネル品質インジケータの情報のそれぞれと一緒に送信するステップをさらに備えることを特徴とする請求項5に記載の方法。

**【請求項 8】**

前記報告送信時間間隔のそれぞれの送信は、前記ダウンリンク帯域幅内の前記グループの位置の指標を含まないことを特徴とする請求項5に記載の方法。

**【請求項 9】**

ワイヤレスネットワークノードであって、

Nの報告送信時間間隔(TTI)で1つのワイヤレス送受信ユニット(WTRU)からチャネル品質の指標(CQI)の情報を受信するように構成されたプロセッサおよびレシーバーを備え、

前記Nの報告TTIのそれぞれの前記CQIの情報は、周波数リソースブロックのNグループのそれぞれの1つに対応し、

前記周波数リソースブロックのNグループは、ダウンリンク帯域幅を分割する、ことを特徴とするワイヤレスネットワークノード。

**【請求項 10】**

それぞれの報告送信時間間隔およびその報告送信時間間隔の中で報告される前記周波数リソースブロックのグループは、前記ワイヤレスネットワークノードによって受信より前に知られていることを特徴とする請求項9に記載のワイヤレスネットワークノード。

**【請求項 11】**

前記プロセッサは、対応する周波数リソースブロックについての少なくとも他のレイヤーに対応するチャネル品質インジケータを示すNのチャネル品質インジケータの情報のそれぞれと一緒に受信するようにさらに構成されることを特徴とする請求項9に記載のワイヤレスネットワークノード。

**【請求項 12】**

前記Nの報告TTIで受信される情報は、前記ダウンリンク帯域幅内の前記グループの位置の指標を含まないことを特徴とする請求項9に記載のワイヤレスネットワークノード。

**【請求項 13】**

前記プロセッサは、前記Nの報告TTIのそれぞれのCQI情報から前記Nグループの全てについてのCQIを決定するようにさらに構成されることを特徴とする請求項9に記載のワイヤレスネットワークノード。

**【手続補正2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

ハイブリッドBest-M差分(hybrid best-M differential)に指定されている、第1の実施形態内の代替スキームは、必要とされるオーバーヘッドをさらに低減することができる。代替スキームにおいて、前述のハイブリッドbest-Mスキームにおけるように、Q個の位置指標を送信して、1個は、best-Mのサブバンド用であり、およびQ-1個は、Q個のグループのうちのQ-1個のグループの帯域用である。しかしながら、代替スキームにおいて、Q個のグループに順序付けをし、およびQ個のグループのうちの第1のグループに対する第1の品質メトリックの平均値の1つだけを報告する。残りのQ

- 1 個の第 1 の平均値を、各々の平均値と、順序において先行する平均値との差として、各々報告する。第 2 の平均値を、第 2 の平均値と、最後の第 1 の平均値との差として、報告する。